

NCD(一般社団法人 National Clinical Database)外科手術・治療情報データベース事業への参加について

当院は、日本外科学会を基盤とする外科系諸学会が連携する一般社団法人 National Clinical Database (NCD)が実施するデータベース事業に参加しています。

この事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。

全国の医療施設診療科の情報を収集することで、手術を行っている施設診療科の特徴、医療水準の評価、適正な外科専門医の配置、手術を受けた方の予後、これから手術を受ける方の、死亡・合併症の危険性などを明らかにすることができます。

情報の収集の対象は、日常の診察で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法となります。患者さんの自由な意志により拒否することが可能です。

NCD : <http://www.ncd.or.jp/>

QIP 研究プロジェクト(京都大学大学院・医療経済学教室)への参加について

当院は、京都大学大学院・医療経済学教室が主宰する医療の質と経済性の評価・向上プロジェクト (QIP:Quality Indicator/Improvement Project)に参加しています。

QIP の目的は、DPC データを利用して診療のプロセス・成果や経済性を反映する客観的な数値指標(パフォーマンス指標)を測定し、その情報を定期的に医療機関にフィードバックし、参加施設における医療の質の向上に寄与することにあります。

QIP : <http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/>

QI プロジェクト(日本病院会)への参加について

当院は、日本病院会が主宰する病院の医療の質を向上させるプロジェクトに参加しています。

医療の質を表す指標(Quality Indicator)を測定し公表することにより病院で提供している医療の質を向上させることを目的としています。

QI プロジェクトは、「自院の診療の質を知り、経時的に改善する」ことを目的とし、医療の質を測定、評価、公表するための指標の検討と各病院で PDCA サイクルを病院の運営管理の手法に取り組みことを促す役割を担っています。

この評価を数値化して可視化することにより比較することができ、医療の質の改善向上に繋げることができます。

QI : <http://www.hospital.or.jp/qip/>

日本循環器学会「DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する事業」への参加について

当院の循環器内科では、日本循環器学会が実施する「DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する事業」に参加しています。

本事業では、入院患者と外来患者の診療情報を用いて循環器疾患の全国規模の大規模データベースを構築し、日本の循環器疾患医療の質向上のための研究を行います。

この研究では、循環器疾患で入院された方の保険請求データから調査を行い、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報のみで、名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることはありません。

調査したデータは国立循環器研究センターに送付され、厳重に管理されます。

日本循環器学会：<http://www.j-circ.or.jp/>

日本造血細胞移植データセンターへの参加について

当院の血液内科では、移植データを一元管理している一般社団法人日本造血細胞移植データセンターに参加しています。

日本造血移植データセンターは、国内で行われた骨髄移植、さい帯血移植などの造血細胞移植の患者・ドナーデータを収集し、解析します。

これによって、移植実施状況の正確な把握、移植成績の公表、造血幹細胞移植の臨床研究の推進に貢献し、造血幹細胞移植医療の向上を目指します。

日本造血細胞移植データセンター：<http://www.jdchct.or.jp/>